

お母さんの本当のやさしさ

平成二年度 三年 女兒

先日、弟がわたしの大切な国語辞典をかってに開いて見
ていました。わたしは、思わず弟の頭を国語辞典でぶって
しまいました。いっしゅんの出来事だったので、自分でも
何が起きたのがよくわからず、しばらく立らすぐんでし
まいました。

ふと気がつく、目の前で弟が、

「いたいよう。いたいよう。と、大声でなっていました。」

それを見ていたお母さんは、わたしにおかって、

「どうして頭をたたかなければいけないの。」と、となり
の家にも聞こえそうな声でどなりました。わたしも負けず
に言い返してやりました。

「だって、わたしの大切な、大切な国語辞典なのに、こと
わりもなしに見たんだよ。」と…。お母さんは、いつも、い
つも弟をしからずにわたしばかりしかるので、わたしも少
し、おきになっていました。

もとはと言えば弟の方が悪いのに、どうしてわたしがし
かられなければいけないのでしょうか。お母さんは、わたし

よりも弟の方がかわいいのでしょうか。いつも、いつもわ
たしばかりしかられているので、ついそう思ってしまった
ました。

この前だって、弟が窓ガラスをわったのに、

「あなたがちゃんと見ていないのが悪いのよ。」と、しか
られました。そのときも、やはり、弟だけしかかわいくな
いんだと思いました。わたしが悪いことをすれば二倍にも
なってしかられるし、勉強だって弟には教えるくせに、わ
たしには、

「まず自分で考えなさい。」とつめたくするし…。

弟がおこられたときなんて、今までほとんどありません
でした。わたしなんか毎日おこられているけど…。だから、
正直言って家出したくなったときも何度かありました。な
きたくなって、思いつきりないときもありました。大人
は、子どもの気持ちなんてわかっていないのかな。わたし
のように、友だちのお兄ちゃんやお姉ちゃんたちもみんな
同じ気持ちなのかなと考えたことも何度かありました。わ
たしが小さかったころは、もつと、もつとやさしいお母さ
んだったのに、どうして今はちがうのかな。などと、いろ
いろ考えるとますます頭に血がのぼって、はらが立ってき

ます。

でも、今はちがいます。それは、お母さんが、わたしのことも本当にかわいいと思っていてくれるからです。この前、わたしのたん生日に、ごうかとは言えないけど、とても心のこもったパーティーをひらいてくれました。

その料理のひとつひとつに、

「佳ちゃん、おたん生日おめでどう。これからも、弟のめんどうをみてね。」という思いがこめられているように、わたしには思えました。わたしは今まで自分のことばかり考えてお母さんや弟の悪口ばかり言っていたけど、わたしにも悪いところがあったにちがいません。自分のことだけ考えて、人の悪いところばかりさがしたわたしも悪かったなど、ちよっぴり反せいしました。これからは、きちんとたしかめてから話したいと思いました。

お母さんが、わたしばかりおこる理由は友だちの口から聞いてわかりました。それは、小さい子に言ってもよくわからないから、お兄ちゃんやお姉ちゃんにばかり注意するんだということでした。なぜこのことを今まで気づかなかったのでしょうか。

お母さんの本当のねがいは、わたしや弟がすくすく育つ

ことなのです。

わたしはこれから、お母さんにおこられても、はらを立てないで、お母さんの気持らをすこしでもわかってあげたいです。やさしいお母さんだから…。